

27年12月分 製品市場の荷動き・価格先行き動向調査

1. 調査実施期間 平成27年12月1日～ 27年12月10日

2. 調査実施方法

全国の製品市場に対し、アンケート調査票を送受することにより実施した。
12月分の回答企業数は7社である。

3. 判断指数の算出方法

各調査項目について以下の方法でウェイト・ディフュージョン・インデックスを算出した。

Weight.D.I.(ウェイト・ディフュージョン・インデックス)={(「増加」の評価を行った回答の割合)×2+(「やや増加」の評価を行った回答の割合)-(「減少」の評価を行った回答の割合)×2-(「やや減少」の評価を行った回答の割合)}÷2
したがって、この割合がゼロの場合はその増加と減少が等しいことを示し、プラスになるほど増加が多く、逆にマイナスになるほど減少が多いことを示す。

4. 調査結果の概要

(1) 荷動き動向 Weight. D. I.

品目		27/12月	28/1月	28/2月
入荷動向	国産材製材品	△ 28.6	△ 21.4	14.3
	外材製材品	△ 7.1	△ 7.1	0.0
	その他	0.0	0.0	12.5
販売動向	国産材製材品	△ 14.3	14.3	7.1
	外材製材品	△ 7.1	14.3	14.3
	その他	△ 12.5	12.5	12.5
在庫動向	国産材製材品	△ 21.4	△ 14.3	△ 14.3
	外材製材品	14.3	7.1	7.1
	その他	0.0	0.0	0.0

・国産材製材品の入荷は12月、28年1月の減少が、2月は増加。外材は12月、28年1月の減少が、2月は横ばい、その他は12月、28年1月の横ばいが、2月は増加。

・国産材、外材その他製材品の販売は12月の減少が、28年1月、2月は増加。

・国産材製材品の在庫は3ヵ月連続して減少。外材は3ヵ月連続して増加。その他は3ヵ月連続して横ばい。

(2) 価格動向 Weight. D. I.

品目		27/12月	28/1月	28/2月
スギ	柱角 KD10.5×3	0.0	0.0	0.0
	柱角 KD12×3	0.0	0.0	0.0
	通し柱 12×6	10.0	0.0	0.0
	桁角	0.0	0.0	0.0
	母屋角	7.1	7.1	7.1
	タルキ	△ 7.1	0.0	0.0
	間柱	0.0	7.1	7.1
	加工板	0.0	0.0	0.0
	ヌキ	0.0	0.0	0.0
	平割	△ 14.3	△ 7.1	△ 7.1
ヒノキ	柱角 KD10.5×3	0.0	7.1	7.1
	柱角 KD12×3	0.0	7.1	7.1
	土台角 10.5×4	0.0	14.3	14.3
	土台角 12×4	△ 7.1	7.1	7.1
	通し柱 12×6	0.0	8.3	8.3
カマツ土台角10.5×4	—	—	—	
米マツ平角	0.0	0.0	0.0	
米マツ割物	0.0	0.0	0.0	
北洋エゾマツタルキ	0.0	16.7	16.7	
北洋アカマツタルキ	0.0	16.7	16.7	

・スギ製材品の価格は、柱角、桁角、加工板及びヌキは3ヵ月連続して横ばい。通し柱、母屋角及び間柱はやや強含みないし保合で推移。タルキ及び平割は弱含みないし保合で推移。

・ヒノキは12月が総じて保合ないし弱保合が、28年1月、2月はやや強含み。

・米マツ平角及び割物は3ヵ月連続して横ばい。北洋エゾマツタルキ及びアカマツタルキは12月の横ばいが、28年1月、2月は強含み。

モニターからのコメント

(荷動き)

・入荷順調、WW入荷量が少なく品物によっては品薄あり。荷動き悪い、WW、アカマツとも12月に入り動き悪い。スギ、羽柄が動き悪く在庫増加、1月の記念市のためWW、アカマツの入荷を増やす（関東）。

・内地材は入荷減も単価は上がらず。10～12月は販売対象見通しは期待もあり（中部）。

・販売単価と売行きの関係で、在庫の調整が難しい状況、入荷控えている。在庫処分で数量を出した感がある。在庫が処分できない状況。仕入れ単価は上昇しているが、上手く販売単価に転嫁しきれない。（中部）

(価格動向)

- ・スギ柱角 (KD10.5cm、12.0cm) 60,000円/m³、スギ桁角 (東北グリーン材) 40,000円/m³、母屋角 (東北材) 40,000円/m³、スギタルキ (東北材) 45,000円/m³、スギ間柱 (KD) 60,000円/m³、スギ加工板 (東北グリーン材) 束2,800円、(KD) 束4,500円、スギヌキ (東北) 40,000円/m³、(秋田) 48,000円/m³、スギ平割 (プレーナー) 45,000円/m³、同 (ラフ) 42,000円/m³、ヒノキ柱角・土台角 (KD) 85,000円/m³、米マツ平角KD65,000円/m³、米マツ割物AD65,000円/m³、北洋アカマツタルキアッセンブル単価 (S) 68,000円/m³、(P) 58,000円/m³、バンドル単価 (S) 65,000円/m³、(P) 55,000円/m³ (関東)。
- ・北洋エゾマツタルキは在庫が非常に少ない。北洋アカマツラツキはAグレード品がない状態 (関東)。
- ・スギは現状維持。ヒノキは現状維持。米マツは輸入コストが上昇し、販売単価を上げたところ実際は販売が苦戦し、ギリ貧状態。北洋タルキは現状維持 (中部)。